企業の参入を後押しする「ふくしまみらいビジネス交流会ｉｎＪヴィレッジ」が26日、Ｊヴィレッジで開かれる。参加無料。19日まで参加者を

来月 避難区域の現状報告

福島大環境放射能研究所は３月14、15の両日、福島市のコラッセふくしまで成果報告会を開く。テーマは「避難区域の再生～現状とこれから」で参加者を募集している。参加無料。初日は午後１時から専門家らを対象とした英語（通訳なし）の口頭発表で、最終日は午前10時から一般向けにポスター発表、午後１時からはシンポジウムが開かれる。

シンポジウムでは長崎大教授で同研究所副所長の高村昇氏が「リスク評価とコミュニケーションを通じた福島復興への貢献　環境と社会をつなぐ」とテーマに講演するほか、同研究所のコノプリョフ・アレクセイ教授、和田敏裕准教授、塚田祥文教授が研究成果を発表する。シンポジウムは日本語となる。両日とも誰でも参加可能で、申し込みは同研究所ホームページから。問い合わせは同研究所（電話024・504・2114）へ。

来月24日 ＰＨＰ友の会交流会

南東北のＰＨＰ友の会のメンバーが集まる南東北地区交流会は３月24日午後１時から、福島市のチェンバおおまちで開かれる。友の会の会員に限らず参加が可能で、主催者は広く参加を呼び掛けている。

全国ＰＨＰ友の会と福島県地区ＰＨＰ友の会の主催。夢成（郡山市）の鈴木厚志社長が「松下幸之助翁に

合阿武隈川塾の堀江清志塾長が発表する。参加無料。問い合わせは福島大環境放射能研究所（電話024・504・2114）へ。

学んだ、経営理念の大切さ」と題して講演する。

参加費千円、会食交流会に参加する場合はこのほかに1080円が必要となる。問い合わせは全国ＰＨＰ友の会東北エリア本部副本部長・福島県地区長の熊本ヒデ子さん（電話090・5233・1599）へ。全国ＰＨＰ友の会の相馬武副会長（郡山市）と熊本副本部長は、福島民友新聞社を訪れ参加を呼び掛けた。

県内の魅力写真で紹介

二本松市の岳温泉観光協会は28日まで、福島市のＪＲ福島駅改札内の東西連絡通路で、安達太良山など県内を撮影した写真やパネルを展示している＝写真。

同協会が昨年９月15日から約２カ月間、県内の魅力をテーマに会員制交流サイト「インスタグラム」で募集し、寄せられた722点のうち優秀作品16点を展示している。

安達太良山の山小屋や、あづま総合運動公園のイチョウ並木の黄葉などの作品が並んでいる。このほか、会員が作成した安達太良山へのアクセス方法なども紹介している。観賞には入場券が必要。時間は午前５時30分～午後11時30分ごろ。問い合わせは同協会（電話0243・24・2310）へ。